



# なかすぎ

## 一杉並稲門会 第4ブロック報一

Vol. 5



杉並稲門会第4ブロック会員の皆様へ

昨年9月から実施されました会員増強運動の結果、杉並稲門会全体では現在114名の新会員が誕生し、700名を超える全国でも有数な稲門会に発展しました。その中でも第4ブロックは最大の増加者数で、33名の新しい仲間を迎えることが出来ました。これで第4ブロックは総数147名になり、最年長の1948年卒から、最年少の2009年卒までの幅広い会員が稲門の旗の下に集う大ブロックとなりました。

### 第47回・48回懇親会

第47回懇親会は9月5日(金)に中国飯店「天源」で開催された。今回の目玉企画は女性真打で4B新会員の川柳つくし(熊井佳奈子)師匠による落語会。懇親会の前に、新作落語とウクレレ漫談をたっぷり楽しんだ。懇親会は総勢51名が参加されたが、特筆されるのは過去最大の10名の女性会員を迎えたことで、会場は華やかな雰囲気だった。歓談に花が咲いた後はお楽しみタイム。つくし師匠も解説者として登場した「落語雑学クイズ」を行い正解者は、つくしさんの著書や扇子・手拭などをゲットされ満足そうだった。最後に清水一平さんのリードで校歌を高らかに歌いお開きになった。



上: 熱演するつくし師匠  
右: 集合写真前の女性陣に注目

第48回懇親会は12月14日(日)に新会員歓迎と忘年会を兼ねて行われた。会場は新しく会員になられた齋藤宮司のご配慮で、立派な神明宮の宴会場を使わせていただいた。懇親会に先立ち新会員のオリエンテーションを実施し、いよいよ懇親会がスタートする。15名の新会員とゲストを含め総勢59名が参加された。始めは少し硬かった新会員の皆様も、会が進むにつれて旧知の仲のように打ち解けて歓談されていたのは早稲田の縁の素晴らしさ。新会員の紹介の後で、全員が自己紹介をされて盛んな歓迎の拍手を受けておられた。今回のお楽しみ企画は「杉並雑学クイズ」。杉並区と接している区・市はいくつ?などの難問で頭の体操を楽しむ。会の終わりは恒例の校歌斉唱とエール。年末でもあり山田名誉会長の元気な手締めで、今年の最後を飾った。新旧会員の交流が果たせた、有意義な懇親会であった。



上: 神明宮の宴会場で新旧会員併せた59名の集合写真  
右: 久保田会長・山田名誉会長・服部4B世話人代表と15名の新会員

### 第11回社会見学ツアー

台風一過の10月15日(水)に49名の参加者で第11回の社会見学ツアーが行われた。今回のテーマは明治・大正・昭和の3世代にわたって日本の経済を支えた生糸産業と鉄道の歴史を探访するツアー。まずは世界遺産に登録されたばかりの「富岡製糸場」を訪れ、現地のボランティアガイドの説明で施設を見学する。息抜きの「こんにやくパーク」で上州名物のこんにやくの製造工程と試食を楽しんだ後は、もうひとつの目的地・碓氷峠。アプト式鉄道が走っていた「めがね橋」などの鉄道遺跡と博物館を廻る。また今回は杉並郷土史会会長の新村さんとリニア鉄道に携わった小豆澤さんがバスの車中で製糸場の歴史やアプト式鉄道に伴う逸話などを解説いただき、人材豊富な稲門会らしい社会見学ツアーとなった。



### 一金会

毎月の第一金曜日の気さくな懇話会・一金会は21回開催していますが、参加メンバーが固定化しつつあります。そこで4月からは、早稲田の話題は勿論としてスポーツ・音楽・旅行などの話を楽しく語り合う会にリニューアルします。自由参加の会ですので、気軽にお立ち寄りください。

### 〔第4ブロック 今年度の年間行事が決定〕

次の通り年間の行事が決まりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。  
3月:20日(金)第49回懇親会/4月:3日(金)一金会  
5月:8日(金)一金会、14日(木)第12回社会見学ツアー  
6月:5日(金)一金会/7月:3日(金)第50回懇親会  
8月:7日(金)一金会/9月:4日(金)第51回懇親会  
10月:2日(金)一金会/社会見学ツアー予定(日時未定)  
11月:6日(金)一金会/12月:懇親会予定(日時未定)  
※開催日は変更されることがあります。各催事毎にメール又は郵送でご案内いたします。

### 〔第4ブロック世話人の新任・退任・交代のお知らせ〕

☆平田久さん(69年教育)、平田律子さん(69年教育)、大田忠雄さん(74年政経)が新しく世話人になられます。  
☆百地健さん(57年政経)、井口昌彦さん(57年政経)、須藤敏朗さん(60年商)が世話人を退任されます。長年にわたるご活躍、有難うございました。  
☆4Bの世話人代表が服部文夫さん(66年政経)から西野正浩さん(68年理工)に交代されます。  
※新任・退任・交代は4月1日よりです。

## 新会員インタビュー

### 阿佐ヶ谷神明宮宮司 齋藤博明さん(79年法)

[宮司さんの御子息ですが、どんな少年時代でしたか]  
阿佐谷で生まれ育ちましたので杉並第一小学校から杉森中学に通いました。ごく普通の子供でしたよ。親からも特別な教育は受けていません。ただ、宮司の息子ということで、からかわれる対象ではありましたね。先生も勉強ができない生徒に「天祖神社(神明宮の前名)にお参りして頭が良くなるようお願いしてこい」なんて云うものから恥ずかしい思いもしました。また、周りの氏子総代さん達からは宮司になるのが当然と思われていましたので、少しプレッシャーはありました。高校は早稲田大学高等学院に進みました。

[神道学科のある大学に入り神職を目指す方が多い中で、どうして早稲田大学に進学されたのですか。また、国文学などではなく法学を専攻されたのですか]

一つは単純に、学院に入った時点で早稲田大学に進むのは既定のコースで、学院から文学部に行く仲間がほとんどいなかったので法学部を選んだと云うことです。もう一つは、いずれ神職に就くにしても神道学だけを学ぶのではなく、世の中の仕組みなどを幅広く学びたかったからです。その為には法律を勉強するのが適していると思いました。また、父親も私の考えを理解してくれました。でも正直に云いますと、子供の頃から親の跡を継いで宮司になるのは嫌でした。出来れば別の職業に就きたいと思っていたのが理由かもしれません。



[早稲田で学生時代を過ごされて良かったことは]  
神道科のある大学で学ばれた神職の方とお話する機会も多いのですが、世間に疎いと感じる時があります。早稲田で、宗教とは関係なく社会人として身につける知識を学べたのは感謝しています。けれども一番良かったのは友達を得たことです。友達は沢山いますが、心おきなく何でも話せるのは学院出身者を中心とした早稲田の仲間です。これは私にとって大切な財産です。

[大学卒業の頃には跡を継ぐ覚悟ができていましたか]  
ある程度は腹を決めました。まだ少し迷っていましたが。子供ができれば、宮司の息子としての負担をかけさせたくないなどの思いもありました。早稲田を卒業して國學院大学の神道学専攻科を受験したのですが、もし失敗したらハワイ大学にいった英語の勉強をしようかと思っていたぐらいです。もっとも、金髪の奥さんを連れて帰りたいんだろうとからかわれて終わりでしたが。(笑い)

[その後、神職になられる道のりは]  
國學院に入った時点で、神職になろうと決心したのですが、天職と思うようになったのはその後です。國學院を出

て実家に帰るつもりでしたが、欠員ができた靖國神社に奉職することになり、結局7年間いました。靖國神社は戦没者を祀る役割以外にも多くの催事を行っています。これによって日本中から沢山の方が来られ、周辺の街が発展しています。私もこれに関わって、神社は神事だけでなく催事でも街の活性化に役立つことができると分かりました。浅草寺や柴又の帝釈天なども地域繁栄の中核になっていますので、目標としては、そのような存在になりたいですね。

[その経験が現在の地域貢献に活かされているのですか]  
きっかけは阿佐谷ジャズストリートでした。他の神社から「無料でジャズイベントに貸し出すなんて」との声も聞こえてきましたが、私は地域の繋がりを考えるとチャンスだと思いました。もともと神楽殿はありましたが手狭だったので能楽殿に改修しました。今では伝統芸能の発表会や青空市など多くのイベントが行われています。駅に近い立地を活かして、お参りだけでなく多様な目的で周辺の方に来ていただき、街がにぎわうような貢献をする神宮になりたいです。

[なにやら良いお話があるようですが]  
昨年、伊勢神宮より式年遷宮に伴い鳥居の古材を頂戴しました。東京では神明宮だけです。貴重な物を下賜いただいたのですから、盛大にアピールし多くの方に来ていただくつもりです。初夏に「お木曳き」の行事を行い、9月12・13日の例大祭までには鳥居を完成させ「ぐり初め」を行います。

[最後に阿佐谷への思いをお聞かせください]  
阿佐谷は本当に良い街だと思います。高円寺や荻窪とも違う魅力を持っています。能楽殿を阿佐谷のシンボルに、新しい鳥居を杉並の宝にして沢山の方を阿佐谷に集め、阿佐谷の素晴らしさを知ってもらえれば嬉しいです。若い頃は嫌だったのですが、今は宮司になって本当に良かったと思います。



(伊勢神宮より下賜した古材)

## ようこそ稲門会へ

入会された33名の第4ブロックの新会員をご紹介します。  
[阿佐谷北]藤沢智恵(54年文)、齋藤博明(79年法)、森秀教(70年政経)、島田文雄(75年商)、矢吹康之(93年教育)、桐岡隆澄(83年法)、福島泰彦(60年理工)、岩淵拓嗣(87年教育)、島村喜一(81年商)

[阿佐谷南]佐竹孝(71年理工)、熊井佳奈子(92年教育)  
※高座名・川柳つくし、辻本全志(65年政経)、高倉義憲(75年法)、倉橋暁(71年商)、高津たみえ(66年文)、谷脇芳正(78年理工)、西澤直(69年教育)、鶴飼貢次(03年人科)、上西悦夫(57年政経)

[成田東]川村剛(66年理工)、吉田貞男(72年文)、吉田純子(72年文)、竹入啓子(69年教育)、松山隆幸(78年商)、神尾康宏(82年政経)、小原理一郎(65年法)、松浦真理子(77年教育)

[成田西]鈴木延幸(68年教育)、横田宗泰(78年理工)、小林利男(94年政経)、乾敏晃(82年教育)山形長之(78年政経)

[エリア外・文京区]三木将司(73年政経)

(エリア別・入会順、敬称略)

情報やご意見をお寄せください

発行責任者: 第4ブロック世話人代表 服部文夫

編集責任者: 柄谷隆宏 ☎03-5932-2598

メールアドレス: t.karatani@jcom.home.ne.jp

2015年3月発行